事業番号	0014	事業名	検察総合情報管理システムの運営
------	------	-----	-----------------

外部有識者の評価結果

1 廃止	0
2 事業全体の抜本的な改善	3
3 事業内容の一部改善	3
4 現状どおり	0

【事業全体の抜本的な改善】

- システムの再構築により、新技術、機能性アップ、セキュリティ強化を充実させるとともに、コストを適正化する必要がある。
- システムが古く、時代に合っていない。システムの再構築に当たっては、
 - ①スマートフォンやタブレット端末などからアクセスできるような「携帯性」の向上
 - ②AIを活用した人間に頼らない情報処理
 - ③画像、動画、音声、各国の文字などの幅広い情報の網羅を特徴とする設計にすべきである。
- システムの再構築に当たっては、現場の人間の声を反映した設計とすべきである。

【事業内容の一部改善】

- 成果目標に事務処理に係る時間コストを導入すべき。処理時間の短縮を目指すともコストも削減される。
- 一者応札改善のための工夫をすべきである。
- システムの再構築の検討は合理的な方向に進んでいるが、もっと早く、もっと具体的に検討すべきである。
- 直ぐにできる合理的な対応をしてもなお一者応札が続いていることを重く考えるべき。
- 法改正の都度改修に高額な費用が発生しないようなシステムを構築すべきである。
- システムを早期に再構築することで、平成36年にリプレースを目指すよりもコストが安くなる可能性もあるのではないか。